

1 令和4年度東京都公立大学法人業務実績評価（年度評価） 評価（素案）からの主な修正箇所一覧

| No. | 評価書（案） 該当箇所 | 評価（素案）の文章 | 修正案 | 備考 |
|-----|--|--|--|-------------------|
| 1 | p. 3 全体評価 1 総評 都立大 ●2つ目 | (記載なし) | <u>博士後期課程学生への支援を充実させるため、日本学術振興会特別研究員申請の支援体制を強化し、申請の支援を45件実施することで、学生5名が特別研究員に採用された。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ追加 |
| 2 | p. 4 全体評価 1 総評 産技大 ●1つ目 | (記載なし) | <u>東京都立産業技術大学院大学（以下「産技大」という。）では、PBLやアクティブ・ラーニングの定着・情報発信に積極的に取り組むとともに、コロナ禍においてもアジア各国との連携推進において成果を挙げている。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ追加 |
| 3 | p. 4 全体評価 1 総評 産技大 ●2つ目 | (記載なし) | <u>社会人リカレント教育として、AIITフォーラムを実施しており、延べ1,379名の参加者を得たほか、AIITシニアスタートアッププログラムを継続的に実施している。</u> | 特筆すべき取組を記載する趣旨で追加 |
| 4 | p. 4 全体評価 1 総評 法人運営全般 ●2つ目 | (記載なし) | <u>寄附金獲得額の拡大を図るため、都立大同窓会と連携して、ホームカミングデーに合わせて寄附イベントを開催し、寄附者に対して感謝状を贈呈するなど、継続的な寄附意欲を促進する取組を充実させた。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ追加 |
| 5 | p. 7 項目別評価 大項目3 | FD関連セミナーの参加者数が前年度を大きく下回った。参加者数増加に向けた取組を期待する。 | <u>学生と教職員が意見交換をする学生参加型FDを実施した点は評価できる。一方で、FD関連セミナー全体での参加者数が前年度を大きく下回っており、参加者数増加に向けた取組を期待する。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ修正 |
| 6 | p. 8 項目別評価 大項目6 | <u>(改善すべき点)</u> 被引用度トップ10%論文の比率（過去5年平均）や国際共著論文の割合が過去6年間で最低となった。学内研究費を効果的に配分するなど、研究力や国際的存在感の向上に資する取組を一層推進された <u>い。</u> | <u>(更なる充実が期待される点)</u> 被引用度トップ10%論文の比率（過去5年平均）や国際共著論文の割合が過去6年間で最低となった。効果的な研究支援の方法を検証し、研究力の強化を図る取組の推進を期待する。 | 第3回分科会中の意見を踏まえ修正 |
| 7 | p. 13 項目別評価 大項目29 | 2つの海外体験プログラムの参加者は定員の70人に対し、参加者は53名と目標を下回ったが、上級生向けのグローバル・コミュニケーション・プログラムでは、3年ぶりにシンガポールに渡航して現地の学生と協働・交流するプログラムを <u>実施した。</u> | 2つの海外体験プログラムについて、コロナ禍の影響により、定員の70名に対し、参加者は53名と目標を下回ったが、上級生向けのグローバル・コミュニケーション・プログラムでは、3年ぶりにシンガポールに渡航して現地の学生と協働・交流するプログラムを <u>再開させた。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ修正 |

2 第三期中期目標期間東京都公立大学法人業務実績評価（期間評価） 評価（素案）からの主な修正箇所一覧

| No. | 評価書（案） 該当箇所 | 評価（素案）の文章 | 修正案 | 備考 |
|-----|---|--|---|-----------------------------|
| 1 | p. 4 全体評価 1 総評 ● 2つ目 | 東京都公立大学法人（以下「法人」という。）の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「産技高専」という。）は、 <u>技術革新の加速度的な発展に伴う社会経済の変容や、感染症、気候変動といった都が直面する課題を捉えながら、それぞれの特色や個性を生かして、第三期中期計画に掲げた教育、研究、社会貢献やグローバル化の取組を精力的に実行し、確かな成果を上げており、着実な業務の達成状況にあると評価する。</u> | 東京都公立大学法人（以下「法人」という。）の設置する東京都立大学（以下「都立大」という。）、東京都立産業技術大学院大学（以下「産技大」という。）及び東京都立産業技術高等専門学校（以下「産技高専」という。）は、 <u>加速度的な技術革新に伴う社会経済の変容や、感染症、気候変動といった都が直面する課題を捉えながら、それぞれの特色や個性を生かして、第三期中期計画に掲げた教育、研究、社会貢献及びグローバル化の取組を精力的に実行し、確かな成果を上げており、着実な業務の達成状況にある。</u> <u>その取組の一つ一つはもちろんのこと、第三期中期目標期間にわたる業務の実績について絶えざる自己評価を行い、詳細かつ大部な業務実績等報告書を作成してきた関係者の尽力に敬意を表する。</u> | 第3回分科会中の意見及び分科会後の意見聴取を踏まえ追加 |
| 2 | p. 4 全体評価 1 総評 都立大 ● 4つ目 | （記載なし） | <u>コロナ禍において、インターネットの高速回線への切り替え、学生への Wi-Fi ルーターやノートパソコンの貸出し等、ICT を活用したリモート型学習環境の整備を進めた。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ追加 |
| 3 | p. 4 全体評価 1 総評 都立大 ● 5つ目 | 課外活動における安全管理については、第三期中期計画期間中に同一の課外活動団体で事故が繰り返し発生したことを踏まえ、再発防止策のためのP D C Aサイクルの確立など、安全性確保に向けた取組の強化が図られることを求める。 | 課外活動における安全管理については、第三期中期目標期間中に同一の課外活動団体で事故が繰り返されたことを踏まえ、 <u>リスク管理や緊急時の対応等のレクチャー、リーダー育成研修会における注意喚起等、学生の意識向上を図る取組を実施している。</u> <u>取組成果の検証、定期点検、風化防止など、効果的な再発防止策を実施するためのPDCAサイクルを確立し、安全性確保に向けた取組の強化を求める。</u> | 実施している取組や評価できる点も含め記載 |
| 4 | p. 7 全体評価 2 第四期中期目標期間に向けた課題、法人への要望など ● 1つ目 | （記載なし） | <u>法人は、2大学1高専それぞれの教職員からの構想やアイデアを活かしつつ、人的・物的資源をバランスよく配分し、各校の特色や魅力を最大限に引き出すプロジェクトをより戦略的に推進していただきたい。また、その成果についてアピールすべきポイントを明確にし、都や都民に対して効果的に情報発信することで、プレゼンスをより一層向上させていくことを期待する。</u> | 第3回分科会中の意見を踏まえ追加 |
| 5 | p. 11 項目別評価 大項目1 | 認証評価において、多くの研究科で授業内容・方法、研究指導等の教育情報があらかじめ学生に十分に明示されていないとの指摘を受けている。自己点検・評価委員会における改善活動の進捗管理に期待したい。 | 令和4（2022）年度に受審した認証評価において、大学評価基準に「適合」していると認められたが、改善を要する点として、 <u>多くの研究科の研究指導の計画や一部の授業科目の内容等があらかじめ学生に十分に明示されていないとの指摘を受けている。</u> 自己点検・評価委員会における改善活動の進捗管理に期待したい。 | 実施している取組や評価できる点も含め記載 |
| 6 | p. 11 項目別評価 大項目4 | 課外活動における安全管理については、第三期中期計画期間中に同一の課外活動団体で事故が繰り返されたことを踏まえ、再発防止策のためのP D C Aサイクルの確立など、安全性確保に向けた取組の強化を図ることを求める。 | 課外活動における安全管理については、第三期中期目標期間中に同一の課外活動団体で事故が繰り返されたことを踏まえ、 <u>リスク管理や緊急時の対応等のレクチャー、リーダー育成研修会における注意喚起等、学生の意識向上を図る取組を実施している。</u> <u>取組成果の検証、定期点検、風化防止など、効果的な再発防止策を実施するためのPDCAサイクルを確立し、安全性確保に向けた取組の強化を求める。</u> | 実施している取組や評価できる点も含め記載 |